

令和3年度採用

群馬県公立学校教員選考試験問題

中学校（音楽）

| | | | |
|------|--|----|--|
| 受験番号 | | 氏名 | |
|------|--|----|--|

— 注 意 事 項 —

- 1 「開始」の指示があるまでは、問題用紙を開かないでください。
- 2 問題は、1ページから4ページまであります。「開始」の指示後、すぐに確認してください。
- 3 解答は、すべて解答用紙に記入してください。
- 4 「終了」の指示があったら、直ちに筆記具を置き、問題用紙と解答用紙の両方を机の上に置いてください。
- 5 退席の指示があるまで、その場でお待ちください。
- 6 この問題用紙は、持ち帰ってください。

※ 1、2は音楽を聴いて答える問題です。

1 これから聴く5つの曲名、作曲者名を書きなさい。

2 これから聴く旋律を解答用紙に書きなさい。なお、調、拍子、小節数は以下のとおりである。

e - m o l l (ホ短調)、4分の4拍子、8小節

- ・調号、拍子記号は自分で書くこと。
- ・旋律は、8小節を通して、全部で4回繰り返す。
- ・曲間は、10秒とする。

3 第2学年において、「勸進帳」を教材に、「鑑賞」の学習を行う。次の(1)、(2)の問いに答えなさい。

(1) 「勸進帳」は歌舞伎の代表的な演目である。「歌舞伎」の特徴について、生徒に分かるよう簡潔に説明しなさい。

(2) 第2時で長唄を歌う活動を取り入れる。次の①～③に答えなさい。

- ① 長唄を歌う活動を取り入れる意図を書きなさい。
- ② 活動の際、実際に舞台上で演奏しているように座って歌わせることにした。この活動を取り入れることで、生徒に気付かせたいことを書きなさい。
- ③ 産み字を意識させながら長唄を歌わせたい。産み字について説明しなさい。

4 第2学年において、「浜辺の歌」を教材に、アルトリコーダーを用いて器楽の学習を行う。
後の(1)～(3)の問いに答えなさい。

(1) バロック式のアルトリコーダーで演奏する際、A、Bの音の運指について、押さえる箇所が分かるように、図の○を塗りつぶしなさい。

(2) 高い音を出せない生徒に対して、どのような支援を行うか、書きなさい。

(3) 二部形式 (a a' b a') の構成を捉え、アーティキュレーションを工夫して演奏させたい。次の①～③に答えなさい。

① アーティキュレーションを工夫するよさを書きなさい。

② 様々な奏法を試したあと、bはレガート奏法で演奏することとした。レガート奏法について説明しなさい。

③ b以外の旋律は、どのような奏法で演奏するとよいか、書きなさい。

5 第3学年において、「早春賦」を教材に、「表現（歌唱）」の学習を行う。後の(1)～(4)の問いに答えなさい。

資料1

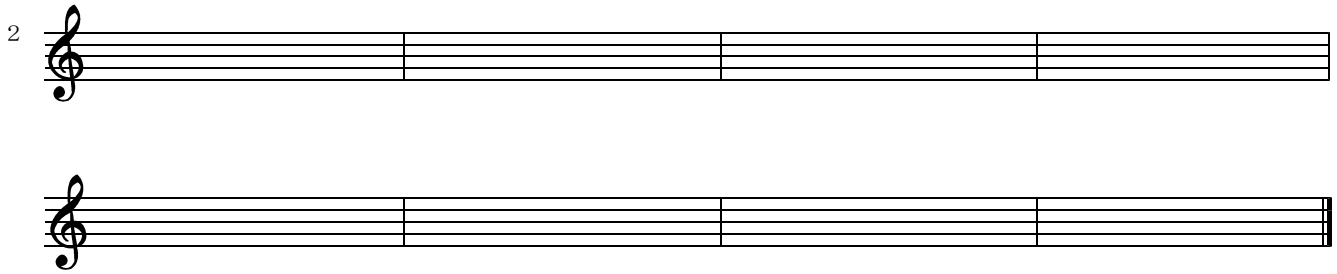
- (1) 導入の場面で、**資料1**のような縦書きの歌詞を音読する活動を行うことのよさを書きなさい。
また、歌詞の中の**A**「角ぐむ」の意味を書きなさい。
- (2) この曲の拍の流れを感じさせるための手立てを書きなさい。
- (3) 歌唱指導の中で**B**の部分の音程がとれない生徒に対し、どのような支援を行うか、書きなさい。
- (4) 創意工夫を生かした表現で歌うために、課題となる点を具体的に2つあげ、それぞれについて解決に向けた手立てを書きなさい。

- 6 第2学年において、動機を基に構成を工夫して旋律をつくる学習を行う。次の(1)～(4)の問いに答えなさい。
- (1) 旋律づくりの学習の前に、ベートーベン作曲「交響曲第5番」を鑑賞する活動を行う。その意図を書きなさい。
- (2) アルトリコーダーのための、動機を生かした旋律（ハ長調 4分の4拍子）をつくる活動を行う際に、教師が自作して例示することとした。次の①～③に答えなさい。
- ① 例示する1小節の動機をつくりなさい。
- ② つくった動機を変化させたい。変化のさせ方を具体的に2つ書きなさい。
- ③ 例示する8小節の旋律をつくりなさい。
- (3) 「落ち着きのある穏やかな感じの旋律にしたい」という思いをもった生徒に対して、どのように助言をするか、書きなさい。
- (4) 中学校学習指導要領（平成29年告示）解説音楽編では、「コンピュータや教育機器を効果的に活用できるよう指導を工夫すること」とある。創作の授業において、生徒が主体的に学習に取り組むことができるようにするために、どのような活用方法が考えられるか、書きなさい。

| | | | | | |
|-------------|-----------|---------|--|-----|--|
| 音 楽 解 答 用 紙 | 2 枚 中 の 1 | 受 験 番 号 | | 氏 名 | |
|-------------|-----------|---------|--|-----|--|

(3 年)

| | | | | | | |
|---|-------|-----|---------|-------|-----|---------|
| 1 | | 曲 名 | 作 曲 者 名 | | 曲 名 | 作 曲 者 名 |
| | 1 曲 目 | | | 4 曲 目 | | |
| | 2 曲 目 | | | 5 曲 目 | | |
| | 3 曲 目 | | | | | |



3

| | |
|-----|---|
| (1) | |
| (2) | ① |
| | ② |
| | ③ |

4

| | | | | | |
|-----|---|--|---|-----|-----|
| (1) | A | | B | | (2) |
| | | | | | |
| | | | | | ① |
| | | | | | ② |
| | | | | (3) | ③ |

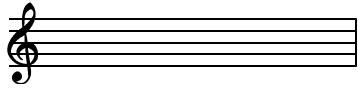
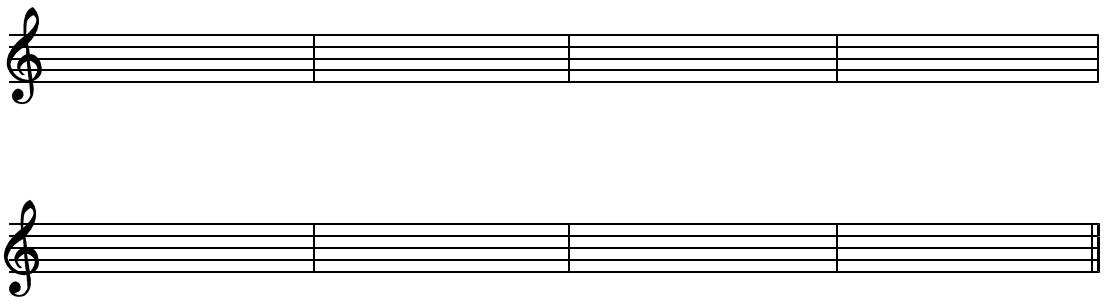
| | | | | | |
|-------------|-----------|---------|--|-----|--|
| 音 楽 解 答 用 紙 | 2 枚 中 の 2 | 受 験 番 号 | | 氏 名 | |
|-------------|-----------|---------|--|-----|--|

(3年)

5

| | | |
|-----|--------|-----------|
| (1) | よさについて | A「角ぐむ」の意味 |
| (2) | | |
| (3) | | |
| (4) | 課題 | 手立て |
| | 課題 | 手立て |

6

| | | |
|-----|---|--|
| (1) | | |
| (2) | ① |  |
| | ② | ----- |
| | ③ |  |
| (3) | | |
| (4) | | |

以下はあくまでも解答の一例です。

| | | | | |
|---------|---------|------|----|-------|
| 音楽 解答用紙 | 2 枚中の 1 | 受験番号 | 氏名 | (3 年) |
|---------|---------|------|----|-------|

配点 2 点 × 10 = 20 点

| 1 | 曲名 | 作曲者名 | 曲名 | 作曲者名 |
|------|-----------|--------|------|---------------|
| 1 曲目 | 亜麻色の髪のエ乙女 | ドビュッシー | 4 曲目 | ラプソディー・イン・ブルー |
| 2 曲目 | 木星 | ホルスト | 5 曲目 | フィンランディア |
| 3 曲目 | 夜の女王のアリア | モーツァルト | | |

配点 10 点

2

配点 1 4 点

3

| | | | |
|-----|---|---|-----|
| (1) | ・歌（音楽）・舞（舞踊）・演技からなる江戸時代に始まった舞台芸術である。 など | 3 点 | |
| (2) | ① | ・実際に体験することで、伝統的な声の出し方や歌い方などの特徴に興味や関心を持たせることができる。 ・我が国の伝統音楽のよさを味わい、音楽文化に対する理解を深めることができる。 など | 4 点 |
| | ② | ・座って歌うことで体の使い方が変化し、声の出し方に違いがあること。 など | 4 点 |
| | ③ | ・長く延ばして唄う母音のこと。 など | 3 点 |

配点 1 8 点

4

| | | | | | | | |
|-----|---|--|-----|--|-----|--|-----|
| (1) | A | | (2) | ・サムホールの隙間が広くなりすぎないように気を付け、「チュー」や「ティー」といったタンギングを用い、スピードのある息で吹くとよい。 など | 3 点 | | |
| | B | | | (3) | ① | ・旋律に様々な表情を付けることができ、音楽表現が豊かになる。 など | 3 点 |
| | | | | | ② | ・最初の音でタンギングをし、そのあとの音は息の流れを切らずに演奏する。 など | 3 点 |
| | | | | | ③ | ・ポルタート奏法、またはテヌート奏法 | 3 点 |

A : G# B : B (シブ)
3 点 × 2

以下はあくまでも解答の一例です。

| | | | | |
|---------|---------|------|----|-------|
| 音楽 解答用紙 | 2 枚中の 2 | 受験番号 | 氏名 | (3 年) |
|---------|---------|------|----|-------|

配点 1 8 点

| | | | |
|---|-----|--|---|
| 5 | (1) | よさについて ・声に出して読むことで、言葉のまとまりや日本語のもつ美しさを味わったり歌詞の内容を理解したりすることができる。 ・言葉のリズムを捉えることができる。 など 2 点 | A「角ぐむ」の意味 ・芽が出始める ・新芽が小さな角のように出る など 2 点 |
| | (2) | ・範唱に合わせて指揮をする。 ・範唱に合わせて体を左右に揺らす。 など 3 点 | |
| | (3) | ・手で音程（旋律線）を示しながら歌う。 ・速度を落として歌う。 など 3 点 | |
| | (4) | 課題・1小節ほどで、1オクターブ以上の音域があり、歌うことが難しいため、創意工夫を生かした表現を工夫するまでに至らない。 | 手立て・歌い出しの準備（呼吸・発音）をしっかりとするとともに、一番高いミの音に向かって息をのせて歌えるように指導する。 など 4 点（2 点×2） |
| | | 課題・歌詞の表す情景を表現するためのppやritの表現が難しい。 | 手立て・強弱を変えたり速度を変えたりするなど、様々な表現を試し、歌詞の表す情景にふさわしい表現を探らせる。 など 4 点（2 点×2） |

配点 2 0 点

| | | |
|---|-----|--|
| 6 | (1) | ・動機を繰り返しながら構成されている音楽であり、動機の動きが生み出す雰囲気や特徴を捉えやすいため。 など 3 点 |
| | ① |  など 2 点 |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ・動機を逆方向に進行させる。 ・動機の音符や休符の長さを倍にする。 など 2 点 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・動機の音符や休符の長さを半分にする。 ・動機の音型はそのまま、音の高さを移動する。 など（どちらかに書いてあってもよい） 2 点 |
| | (2) |  |
| | | <p>③</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・アルトリコーダーで演奏できる音域（1 点） ・動機を反復、変化させている（1 点） ・生徒に示す例として適切な旋律である。（2 点） など 4 点 |
| | (3) | <ul style="list-style-type: none"> ・二分音符などの長い音を取り入れるとよい。 ・音程の上下を抑え、なめらかな音の動きを取り入れてみよう。 など 3 点 |
| | (4) | <ul style="list-style-type: none"> ・演奏や記譜等に苦手意識をもつ生徒のために、つくった旋律の演奏や記譜をコンピュータや教育機器に任せる。 ・音を音楽へと構成していく体験においてコンピュータを活用し、旋律をつなげたり重ねたりするなど、試行錯誤しながら音楽をつくる活動を行う。 など 4 点 |

